

第2回鳥栖市市庁舎整備基本計画策定委員会議事録

と き：平成29年8月28日（月）14時～

ところ：鳥栖市役所2階第1会議室

1. 開会

2. 委員等の紹介

前回欠席の池上委員の紹介

県の7月人事異動による委員交代に伴う井上委員の紹介

今回より同席しているコンサルタントの紹介

3. 報告事項

(事務局)

用途地域変更手続きについての説明

(三島委員長)

「用途地域変更概算スケジュール（準備期間を除く）」となっているが、原案縦覧・公聴会はいつ頃を想定しているのか。

(事務局)

原案縦覧・公聴会については、平成30年2月を予定している。

(井上委員)

2月に原案縦覧・公聴会の予定であれば、この委員会はいつまでなのか。

(事務局)

本委員会につきましては、基本計画策定までとなる。

(三島委員長)

基本的に委員会は平成29年度3月までで、敷地の決定がスムーズに決まれば2月になるということか。

(事務局)

用途変更手続きにおいては、現在の市役所の用途が不適合という現状を是正するために進めているので、この庁舎建設とは関係がない。

昨年用途変更について行いたいという方針を都市計画審議会で示したものであり、この日程については、できるだけ前倒しをして行いたいと考えている。

(事務局)

事業スケジュールの検討について説明

(委員)

意見なし

(事務局)

市庁舎建設候補地の考え方（案）の説明

(井上委員)

p 1の「市庁舎建設候補地の考え方」とはどういうものか。

(事務局)

今年の平成29年1月に策定した「庁舎整備の基本となる考え方」を抽出したものである。

(井上委員)

基本的な考え方に基づいて、この委員会で議論していくということか。

(事務局)

はい。

4. 市民アンケート結果について

(事務局)

資料説明

(芹田委員)

機能的な部分で2点質問したい。1つ目は駐車場の件で、数自体が足りなかったという認識なのか、機能的に充実した方がいいのか。アンケート上では設問がないのでわからないが、市の考があるのか。

2つ目は、〔問12〕付加機能の回答の中で「銀行・ATM」が一番だが、どのような機能が必要なのか。また、「コンビニエンスストア」にも票が入っており、振込みするだけならコンビニでも代用可能であるが、銀行の窓口のような機能を求められているのか。

(事務局)

1件目の駐車場の数だが、異動時期や申告時期、市役所のイベント時期に駐車場の数が不足している事態を市民の皆様が感じられている。新庁舎建設にあたり、どの程度の数が必要なのか精査をしていきたい。今後つくる駐車場については、障害者スペースの確保や屋根をつけるなど、庁舎に行くときにストレスなく利用できるものが必要であると考えている。

2件目の「銀行・ATM」については、アンケートに設問がないので一概にはわからないが、複数の銀行の窓口の検討も必要である。窓口機能については、公金の支払いになってくると思うので、今後は銀行と協力できるのかを検討していきたい。また、コンビニがあれば、預金の払い戻しや市の納付関係の手続きなどもできるので、設置できれば市民の利便性は高まるのではないかと考えている。

(井上委員)

〔設問13〕の自由意見の「庁舎建て替えの賛成意見・反対意見」とあるが、具体的にどのような意見がでているのか。

(事務局)

賛成意見では、早急な建て替えが必要ということや、交通機関の利便性等を考えて建て替えが必要という意見がある。反対意見については、今あるものを活用すればよいという意見や、庁舎建て替えに伴い税金が上がるのではないかなど意見がある。

(三島委員長)

防災上の問題や老朽化の状況の説明はアンケートにあったのか。

(事務局)

市民の皆様にお配りしたアンケートの調査表に、今回の市庁舎建て替えの基本的な考え方の概

要を添付している。課題として耐震性不足、建設・建物の老朽化、庁舎の狭あい、ユニバーサルデザインが不足しているということから庁舎整備を行う、ということを示した上でお答え頂いている。

(三島委員長)

反対意見が少なかったということでもいいのか。

(事務局)

自由意見に書かれた中身に、賛成が139件、反対が15件であったということである。

5. 検討事項（現況と課題、建設候補地について）

(事務局)

資料説明

(芹田委員)

「現段階の概略アウトライン」での積算というのは、基準に基づくものとしてなのか。これから議論をしていく中で、付加機能によってはもう少し面積が必要になる、ということか。

(事務局)

総務省で使っている基準面積算定に基づく目安が9,500㎡である。今後、新庁舎の機能にこういったものを付加するかが議論になると思うが、そういうものを加味したものが総面積になる。

(芹田委員)

たとえば会議室がたくさん必要なら、想定面積が増える可能性があるということか。

(事務局)

はい。

(井上委員)

フロア構成や動線計画などの細かい計画は、委員会の中で方向性を議論していくのか。

(事務局)

今後予定している10月の第3回や12月の第4回の策定委員会で議論していく項目は、事務局の方でコンサルの草案に基づきたき台を作り、委員の皆様にお示しながら基本計画に落とし込んでいきたいと考えている。

(井上委員)

この委員会で方向性を作っていくということということか。

(事務局)

基本計画の中で議論をして頂いてそれに基づいて、検討を進めていきたいと思う。

(三島委員長)

基本計画を作成するのは市ということか。

(事務局)

はい。

(三島委員長)

現庁舎の敷地面積は北館や南別館など含めて、総面積9,500㎡ということか。

(事務局)

北別館、南別館は現在分散配置されているので、集約化して同じ建物の延べ面積の中に含む考え方になる。

(三島委員長)

現庁舎に付加機能があるのか。

(事務局)

今回の庁舎の建て替えについては、耐震機能が不足しているのが大きな理由の一つであり、現在本庁舎や西別館、北別館の3つが耐震機能の基準を満たしていない。南別館や東別館などの扱いを含め、どのような付加機能を追加するのかを考えていくということになる。

(三島委員長)

付加機能とはどういうものか。

(事務局)

例えば東別館では国の年金に関する、街角の年金相談センターが入っている。本庁舎内であるのか別館内であるのかで、考え方は変わってくる。

(三島委員長)

市民アンケートであげられた付加機能はどのようなのか。

(事務局)

今回新たな国や県の機関について新庁舎への移転は困難という回答を頂いている。現在アンケート結果に入っているものは協議して整理をしていきたい。

(三島委員長)

他に必要となる付加機能で想定されるのは、市民交流などの例が挙げられているが、この現庁舎では充分ではないということか。

(事務局)

現庁舎では不足していると考えている。

(斎藤委員)

市民アンケートで市役所を訪れる際の交通手段で自家用車の回答が多かったように、3つの候補地とも十分な駐車場を確保できるのか。

(事務局)

平面の駐車場に限っては困難な候補地もあるが、立体駐車場を含めると確保できると思う。

(井上委員)

「1) 庁舎位置の中心性」に人口重心とあるが、一般的に庁舎位置を決める際の評価の基準になるのか。

(事務局)

候補地の考え方の一つで、市民の皆様が利用しやすい中心地にあることが利便性につながると考える。今回のアンケートにあったように、利用しやすい庁舎という視点が必要と考えているので、市の中心部である、という視点で一定の距離的な数値判断をするのに使用している。

(井上委員)

今回はこの基準でいくということか。

(事務局)

はい。

(斎藤委員)

評価結果の表の作成はどこですか。

(事務局)

市の方で検討し作成する。次回の策定委員会でどうしてこのような評価にしたのかも含めてご意見を頂きたいと思う。

(斎藤委員)

今日はこの評価基準が妥当かどうかということ議論するということか。

(事務局)

はい。

(芹田委員)

評価基準の係数の0.2や0.6という数値は、他の計画にも同じ数値が使われているのか。

(事務局)

係数までははっきりお答えできないが、ごみ処理施設でも同じように3段階評価をしている。

(芹田委員)

全部Cがついても最低20点つくということか。

(事務局)

候補地要件を満たして3つに絞っているの、一定要件はあるということになる。

(三島委員長)

どのように点数をつけていくのか。

(事務局)

市の方で検討するにあたって、内部の委員会や作業部会で点数化と理由等を整理した後、こちらの委員会に報告させて頂きたい。

(古川委員)

点数付けでは評価項目の1)から5)が重要視されるべきだと思う。及び、アンケートの希望で配点の強弱をつければ納得しやすい。市民が一番希望している意見を反映させないと意味がない。

(事務局)

p7は新庁舎として必要な機能を挙げているが、3つあがっているどこの候補地でも必ず5つの機能を確保していくのが前提である。場所を決める際は、市民から見た利便性や災害時の連携の視点で選んでいくのがよい。

(古川委員)

現庁舎は道向かいに防災拠点がある。警察署が近いなど、建物だけではなく関連した環境も評価すべきと思う。防災時に避難する場所でもあると思うので、現庁舎では、郵便局や警察署、消防署もあり非常に効率的だと思う。交通の混雑や人の流れを考えれば自ずと候補地が決定するのではないかと。

(斎藤委員)

重要な項目を中心に評価し、あくまで点数つけるのは参考に過ぎないと思う。

(事務局)

市民アンケート等を念頭に置いて評価し、評価をどのような視点で行ったかという報告を示し、

次回の委員会でご意見等を頂きたい。

(芹田委員)

評価の結果が根拠になるので次の会議の結果を示すときに、誰が検討したのかを公開していただけると納得しやすいと思う。

(三島委員長)

ここまで点数化する必要があるのか。A・B・Cでなくとも、◎や△でも充分わかるのではないだろうか。駐車場に関しては敷地面積に対して必要な面積を挙げていだけで、大体はわかるのではないかと思う。数値化しないと説明しにくいということか。

(事務局)

評価項目である4つの視点ごとに評価をしたい。市民の利便性があるのか、災害拠点として機能するのか等、総合的に優れているかを評価したいと考えている。

(三島委員長)

ある程度点数で示した方が納得してもらいやすいのではないか、ということか。

(事務局)

よりよく理解してもらいたいと考えている。

(古川委員)

補助金を使うということは前提になっているのか。

(事務局)

活用を前提に計画をしており、平成32年度完成のスケジュールで検討している。

(古川委員)

アンケートで市民もコスト面を懸念している意見があったと思うが、それを考えると今の候補地の場所は問題ないのか、スケジュールに合うのかは重要。市の防災拠点ができるとしたら、どこからでも駆けつけられる場所とするのであれば、自ずと場所は決まると思う。

(松永委員)

事務局による4つの視点やアンケートの内容と点数表示の結果で、この委員会が結果を以て判断すればいいと思う。

(斎藤委員)

点数に拘束されなければ良いのではないか。

(三島委員長)

委員会として、結果を見ながら議論し、市民を代表してしっかりと結果に対して意見を出してもらえればと思う。

6. 閉会